

No. 1526

日米首脳会談

—ワシントン—

中曽根首相は4月12日ワシントンへ到着。翌13日にレーガン米大統領の静養先のキャンプ・デービッドで第一回首脳会談が行なわれました。その会談で、中曽根首相は「日本経済を輸出志向型から輸入志向型に変えていく」決意を表明しました。そのあとワシントン市内に戻りナショナルギャラリーで米国の画家ウインスロ・ホーマーの絵画を観賞。また米国上・下院議員21名と昼食を共にして経済摩擦の解消に意見の交換をしました。14日にはホワイトハウスで第2回首脳会談が開られ五月の主要先進国首脳会議（東京サミット）の成功に協力することで意見が一致。日本と米国との強力な信頼関係がより固まった日米首脳会談でした。

都会に生きる江戸情緒

—絞の里・有松—

ファッションビルが建ち並ぶ、ここは名古屋の原宿といわれる千種区の四谷、山手通り。ビルが年々新装されると共に若者たちの服装も新しい感覚がとり入れられています。こうした近代化されたビルが建てられている中で名古屋市では古い家並を残そうと「町並保存事業」を4年前から始めています。その一つ。ここは東海道53次の知立と鳴海の宿の間の合宿として慶長13年、1608年に開られた絞の里・有松です。家屋の2階は虫籠窓で全体が塗籠造りで江戸情緒を見ることができます。そして多くの店が絞の里にふさわしい昔そのままの商売をしています。こうした町並みはいつまでも残しておきたいものです。